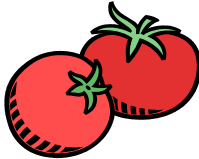


トマト黄化葉巻病

定点調査報告



令和4年10月11日
JA山武郡市
営農部営農振興課

第4報

近年、抑制トマトで問題となっている黄化葉巻病。そして、そのウイルスを媒介するコナジラミ。これらの発生状況を調査しました。毎月2回各地区の定点調査を行い結果報告していきますので、ご活用ください。

コナジラミ類 捕獲頭数 (ホリバー1枚あたり、15日間基準) 単位:匹

調査日	やさいの里			芝山	山武	第一C
	南郷	豊岡	横芝	二川	睦岡	九十九里
9/20	576	176	368	144	350	26
10/5	1000	256	240	208	600	90

黄化葉巻病 発病状況

調査日	やさいの里			芝山	山武	第一C
	南郷	豊岡	横芝	二川	睦岡	九十九里
9/20	作付面積の1%で発生	作付面積の5%で発生	作付面積の5%で発生	作付面積の7%で発生	作付面積の3%で発生	作付面積の5%で発生
10/5	作付面積の1%で発生	作付面積の5%で発生	作付面積の5%で発生	作付面積の7%で発生	作付面積の3%で発生	作付面積の5%で発生

栽培後半に入り黄化葉巻病の増加は治まりましたが、コナジラミの飛来は依然として多い状況です。また、葉かび病・すすかび病の発生も増えてきました。引き続き定期的な薬剤防除を怠らないようにしましょう！

摘芯後の水管理にご注意ください

10月になってから気温が下がり始めました。果実の着色促進のために摘葉(玉出し)が進むと、葉に行くはずの水分が果実へと流れるため裂果が増えやすくなります。今後のかん水量は、夏場の半分程度まで減らすようにしましょう。ただし、水分が少なすぎると葉が小さくなり光合成量も減ってしまうため、軟化玉が発生しやすくなります。天気や樹勢をよく観察し、かん水量には気をつけてください。